

大阪府訪問看護実践研修

教育ステーション事業

市東ブロック 済生会野江訪問看護ステーション

管理者 横山頼子

台風・大雨・地震など災害で被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

災害を経験して更に地域包括ケアシステムの自助・互助・共助を強める地域作りが必要と感じています。

さてこの度、大阪府訪問看護ステーション協会 訪問看護実践研修事業教育ステーションにおきまして下記のとおり、当ステーション主催で研修会を開催いたします。

今回の研修会では、地域包括ケアシステムの土台である「住まいに焦点を当てた研修会です。

厚生労働省においても、2025年（平成37年）を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進しています。

近年、各地域で療養を継続する方たちの生活の場が多様化し、訪問看護に係る場も在宅だけではなく多岐に渡っています。生活の場・住まい方の違いから受けられる看護・介護ケアの過不足が起きることがないように、病院・在宅・様々な施設の間で看看連携が必要です「介護」「医療」「予防」という専門的なサービスと、「住まい」「生活支援・福祉サービス」が相互に連携しながら地域の仕組みを築いていければと考えています。そこで、地域の病院後方支援担当者と医・介コーディネーター、訪問看護ステーション間でグループワークを行いながら地域医療担当医師をオブザーバに迎えて堅苦しくなく課題を共有し進めていきます。

ふるってご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

日時 2018年11月17日（土）14:00～16:00

場所 〒536-0002 大阪市城東区古市 1-3-25

済生会野江病院 4階大会議室

地下鉄今福鶴見線「今福鶴見」駅 3号出口下車 徒歩約5分

定員 20名

会費 無料

## テーマ 「看護で繋がろう～多様化する住まい方・生活の場で～」

- 内容
1. 「地域の様々な療養先について共有」講義
  2. グループワーク
  3. 地域課題の共有と役割共有

参加者：訪問看護ステーション看護師 医・介コーディネーター  
病院後方支援担当者 地域医療担当医師

# 申し込み用紙

2018年11月17日（土）

市東ブロック

「看護で繋がろう～多様化する住まい方・生活の場で～」研修会

ステーション・病院名：
ご芳名： 職位(                    )
ご芳名： 職位(                    )
ご芳名： 職位(                    )

※個人情報の取り扱いについて：研修申込書で得た個人情報は研修会に伴う、書類作成・発送に用いこの利用目的の範囲を超えて取り扱うことはありません。

**11月3日まで**に下記の番号まで **FAX** でお申し込みください。

返信先 **F A X 06-6932-0666**(済生会野江訪問看護ステーション 横山)